

## 日本アブダビ経済協議会インフラストラクチャー・ワーキンググループ（WG）

### 交通ワークショップ（WS）の開催

2024年1月26日  
一般財団法人 中東協力センター

中東協力センター（JCCME）は、アブダビ政府経済開発庁（Abu Dhabi Department of Economic Development : ADDED）と「日本アブダビ経済協議会（Abu Dhabi-Japan Economic Council : ADJEC）」を2012年より開催してきておりますが、ADJEC傘下事業である、サステナブル・エナジー・ワーキンググループ（WG）と並ぶ、インフラストラクチャーWG事業の2023年度活動として、2023年10月29日から11月3日まで、カウンターパートのアブダビ統合交通局(Integrated Transport Center : ITC)の統合交通計画部、交通システムマネージメント関連部署から責任者4名をお招きし、東京にて交通WSを実開催致しました。

交通WSの概要は以下の通りです。

- WS本会議の前日（10月29日）には、ITCとともに対日出張した Expo City Dubai の幹部とともに、スタートアップ企業のゲキダンイノの小型低速自動運転車両の走行実証試験への立ち合いを実施。
- WS初日（10月30日）の本会議では、日本側から東京大学教授による基調講演をはじめ、オリエンタルコンサルタンツグローバルの幹部、Smart Mobilityの精鋭スタートアップ企業として Zenmov 社、LocationMind 社の各々代表者の登壇、更に Macnica 社の幹部に登壇頂き、各社が誇る技術・製品につきプレゼンテーションを実施。ITC側は Smart Mobility を追求する方針を説明。WSの参加者は、日本・UAE 総勢で約30名が参加（日本側は半数近くがスタートアップ企業からの参加）。WS本会議後は、ITCメンバーと参加企業間でのネットワーキング、個別面談を実施。
- WS二日目・三日目（10月31日・11月1日）のサイトビジットは、ITCの将来の投資計画（管制システム更新、自立型自動運転車両導入、水素自動車の導入等）を踏まえ、交通管制センターでの管制システムの視察及び情報交換、羽田空港 Innovation City での自立型自動運転車への試乗・情報交換、TOYOTA Mirai ショールーム視察・情報交換、国土交通省との情報・意見交換を実施。



10月30日交通WSにて



交通管制センター視察



羽田 Innovation City 視察



TOYOTA Mirai サイト視察



国土交通省との意見交換会



今回のWSは、2023年1月にアブダビで開催されたインフラWG交通WSの流れに沿い、ITCと登壇企業間の情報交換・意見交換を促進させつつ相互理解を深化させ、その結果としてITCとの間で今後の協業を期した覚書締結の為に具体的案件を数件形成することが出来ました。

WSを終え、ITC側からは、今回のWSでは前回2023年1月にアブダビにて開催されたWSからの確実な進展が見られたこと、また同社の発展にとって協力が不可欠な国交省、および交通管制センター、日本企業との面談が実施出来たことから非常に高い評価を得ることが出来ました。

UAEは2050年までのカーボン・ニュートラル達成を打ち出しています。また、2030年までの温室効果ガス（GHG）排出削減目標を2022年に定めた31%から40%へ引き上げたほか、2023年11月には、ドバイで国連気候変動枠組み条約第28回締約国会議（COP28）を開催し成功させるなど脱炭素への取り組みを加速させています。

JCCMEは引き続き、日本およびアブダビを中心としたUAEの関係機関と連携の上、同国の脱炭素分野に貢献する事業に向けた日本企業の活動を支援する所存です。

以上